

第2回森づくりサポーター活動 開催!

令和4年7月23日(土)、心配していた雨も止み、時おり夏の日差しがのぞく中、今年度2回目の森づくりサポーター活動が開催されました。

当日は、森づくりサポーター94名、ガールスカウト16名、計110名の多くの皆さんが参加し、石上所長のあいさつと作業内容の説明があったあと、森の中での活動が始まりました。

森づくりサポーターの皆さんは、里の森ゾーンで2班に分かれ、平成22年～24年に植栽された常緑樹と落葉樹が生育する混み合った森の間伐・枝打ちと、墓地周辺の生垣にはびこるクズ類の除去などの作業を行いました。

曇り空でしたが、太陽も顔を見せるなど蒸し暑い天候の中での作業で、サポーターの皆さんは熱心に作業に取り組み、森は明るさを増して爽やかな風が森の中に行きわたり緑の木々が一層元気になったように見えました。



開会式の様子



植栽地の間伐・枝打ち作業



墓地周辺の生垣の除草作業

一方、ガールスカウトの皆さんは、江見先生の指導のもと、森づくりセンター周辺で、「カモフラージュ」というネイチャーゲームを楽しみました。これは、森の中にあらかじめ隠しておいた色や形の異なる物を探し、生きものが外敵から身を守る様子などを学ぶものです。事前に設定した森の中に隠されている物をいくつか探すかを競い、簡単に探せる物や探しにくい物などの色や形を観察し、生きものが巧みに色や形を工夫し身を守る生態について勉強しました。



事前にリーダーが色や形の異なる物を森の中に隠します



隠された物を子どもたちが探しつけた数を報告します



外敵から身を守る生きものの様子を学びました

当日は、新型コロナウイルスの影響が続くなか、また暑い天候のもとでの作業でしたが、ボランティアの皆さんの熱気あふれる活動により、森も活気が出てきたように感じました。参加していただきました皆様、本当にありがとうございました。次回のサポーター活動は、令和4年10月2日(日)に予定しています「森のつどい」と併せて計画しています。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。